

「よくあるご質問」

FAQ

Q ワクチンが変わったの？

A コロナウイルスが変化して、従来のワクチンの効きが悪くなったので、定期接種では、今流行しているウイルスに効くワクチンが使われることになりました。
(今流行しているのは KP.3 株。その前の JN.1 株に対して作られたワクチンが今回の定期接種で使われていますが、KP.3 株にも同程度に効くことは確認されています。)

Q 黒沢病院で使うワクチンはファイザーじゃないの？どこのワクチンなの？

A 日本の第一三共という会社が作ったワクチンです。仕組みはファイザーのワクチンと同じ RNA ワクチンで、効き方も副作用も、ファイザーの最新型ワクチンと同程度であること(劣っていないこと)が確認されています。
黒沢病院では、第一三共のワクチンのデータをきちんと調べた上で、日本の会社を応援するために、第一三共のワクチンを選んでいきます。
(効き方:コロナに対する中和抗体の抗体価、副作用:筋肉痛、発熱、頭痛、倦怠感など)

Q 今、危険なワクチンが出て来たって騒がれているけど、大丈夫？

A 今、騒がれているのは、Meiji Seika ファルマという会社が作ったレプリコンワクチンです。黒沢病院では、それではなくファイザーワクチンと同じ仕組みの第一三共のワクチンを使います。ご安心ください。
(以前ファイザーやモデルナのワクチンを打った人は、それと同じくらいの副作用と考えられます)

Q ワクチンって本当に効くの？打ってもコロナに罹った人が何人もいるけど

A RNA ワクチンは回数を打つことで、コロナウイルスに対する細胞性免疫が誘導されて、例えばコロナに感染しても重症化しにくくなるとされています。高齢者や病気をかかえた人は重症化リスクがあるので、重症化を防ぐ目的で、コロナワクチンの定期接種が開始されました。

Q 第一三共のワクチンって、ファイザーのワクチンと全く同じものなの？

A 第一三共のワクチンは、ファイザーやモデルナのワクチンと同じ RNA ワクチンですが、第一三共のワクチンでつくられるタンパク質は、ファイザー、モデルナのワクチンで作られるタンパク質の 1/6 ほどの大きさです。まだデータは無いので想像にすぎませんが、作られるタンパク質が小さい方が安全なのではないかと考える研究者もいるようです。
(ファイザー、モデルナのワクチンはコロナウイルスの S タンパクをまるごと作りますが、第一三共のワクチンは S タンパクの一部だけを作ります。もし S タンパク自体がワクチンの副作用に関係しているならば、第一三共のワクチンの方が安全である可能性も否定はできません。
← ただし、現時点ではまだそのようなデータは報告されていません。)